

二月十六日(金)、二十三日(金)、三月二日(金)の3回にわたって、ポランティア説明会および研修会が行われました。五〇名弱の新規ポランティア希望者を交えて研修しました。その模様をレポートしてもらいました。

ポランティア研修の第一日は、新規ポランティア募集説明会&先輩ポランティアの体験談及び市岡日本語教室の概略説明の日でした。ポランティア体験談は7班の嶋田さんがしてくださりました。

嶋田さんは現在大学4年生でこの春卒業し、オーストラリアで日本語教師として活躍されます。とても元氣よく分かりやすく体験談を話されていました。

その中で大変に残った事は、日本語教育は外国での教育よりも現在の日本国内での教育が最も必要とされているのではないかと、ということ。日本語教育といえ、外国での日本語教室や日本語学科が頭に浮かんでいました。とのことでした。私もそうだった、とその時思いました。身近な現実には気づいていませんでした。

その後、テレビ番組「ちんぷいぷい」で放送されていたビデオを見せられました。ビデオの内容は日本の企業での就業者の割合をグラフにして説明しているものでした。驚いたのは、研修生として日本で働かれています。驚いたのは、バブル以降、日本企業の工場等での人手不足のために受け入れられた日系2世3世の方々の占めておられる割合でした。想像以上に多くの方が働いておられました。そこで、その方々が日本で生活していくにあたって、日本語を理解することは必要不可欠です。もちろん、その方々のご家族もいらつやいます。そうなるとうち岡日本語教室のような地域密着型の教室が国内にもっとたくさんあるべきだと思えました。人と人とのふれ合いから多くを学ぶことが出来ます。

ポランティアが、二方向的に教えるだけではなく、学習者の方から学ぶことも多くあります。様々な文化を楽しむような気持ちで、新規ポランティアの方々は是非とも多くの方に市岡に参加して頂けたらと思います。
男倫(倫子)



二月二十三日(金)

今日はポランティアの2回目の研修の2回目でした。私が、こちらのポランティアに登録させていただいてちょうど一年。研修は初めて、しかもかわらわらず、おなじ業務の都合で三分ほど遅れてしまいました。

静岡放送アナウンサーや日本語教師を経て、フリーのアナウンサーとして活躍なさっている来栖さまのお話を伺いました。

日本語の不思議を発見しよう、というところから、研修に参加できたのですが、大変興味深いお話でした。

「うれしい」と「楽しい」の違いや、「ゆうべはお風呂にはいらないまま寝てしまいました」のおかしな点などを非常に分かりやすく説明いただきました。

ひとつひとつの例文・クエスチョンに対して、何となくもお分かりになる方いらつやいますか?と、柔らかく聞いてくださっていたので、オーディエンスが参加しやすかったように思います。

(終盤は参加者の意見交換意見発表も開催でとても楽しい研修でした。実践でも活かしていこうと思います。 山田さやか)



三月二日

本日はポランティア研修会の最終回。なお、本年度の最終日もあり、ポランティア登録受付も行われました。

本日の研修の講師は山下隆史氏(よなな国際交流協会職員)で、表題は「場づくりとしての日本語ポランティア」日本語おしゃべり活動

山下氏は日本語教師の経験もあると伺いましたが、現在は日本語教育というよりは、むしろ国際交流の方に軸足を置いておられるように感じました。日本語教育に真正面から向き合うには、日本語ポランティアの活動では時間的にも限界がある。そこで山下氏のたどりついたのが上記の表題かな、と勝手に考えたのが聞いていました。といっても、日本に住んでいる外国人や研修生が気楽に学べるのは唯一ポランティア日本語教室でしょう。そして、学習者のニーズは、おしゃべりだけでなく、読み書きが出来るようになりたい、正しい言葉で意見が述べられるようになりたい、日本語能力試験に合格したい等々多様ですから、おしゃべりだけに終始するわけにはいかないでしょう。でも、山下氏の「国際交流はまずおしゃべり活動から」というのはよくわかる気がしました。

先週の来栖女士と本日の山下氏は若干視点や軸足の置き方が異なっているようですが、両講師のお話は大変参考になりました。

石井兵衛



花見について 卯李建

四月四日の朝、天気がよかったです。私と台湾の友達と一緒に元町公園に行きました。その日は桜がすく綺麗でした。私たちは十一時ごろ公園につきました。桜がたくさん咲いていました。

その日、皆たくさん食べ物を持って行きました。寿司やから揚げやお菓子など、お酒もたくさんありました。焼酎や泡盛やビールなど。皆おいしい食べ物や飲み物を食べながら桜を見ました。皆桜の下でしゃべって雰囲気よく楽しめました。

私は初めて花見に行っても嬉しかったです。台湾では桜はあまり見られません。日本ではたくさん見られる場所をさがしています。昔はドラマでテレビで桜を見ました。今回は日本で花見に行くことができた。すごく感動しました。桜は綺麗でしたが桜が咲く期間は一月です。残念です。

私が日本にきてから、ときどき皆と一緒に食事したり、話したりしています。まだ半年しか日本語を勉強していませんから、市岡日本語学校で食事するときや花見に行くと、よく日本語の練習ができます。特に日本人と話すとき日本の文化や習慣や考えかたをよく勉強することができます。今回の花見は楽しかったです。五時すぎましたが皆帰りが遅かったです。花見の後で家へ帰る人もいました。二次会をした人もいましたが、私は公園に残って桜を見ました。

ナインモールさんありがとう! オリックスバファローズ観戦記(於:京セラドーム大阪)

3月27日に日本語教室の有志で2007年バリーグの京セラドームの開幕戦を見に行ってきました。対戦カードはもちろん「オリックスバファローズ」対昨年の日本シリーズ優勝チーム「北海道日本ハムファイターズ」です。参加者は総勢23人。何年も日本に住んで阪神の熱狂的なファンの人、台湾や韓国、中国のように野球が盛んで日本の選手も時々知っているという学習者、スペイン人のアントニオやインドネシアからの学習者などのように野球のルールはもちろん、野球自体を見るのが初めてというような人までさまざまです。ヒットが出るたびに一喜一憂し、試合内容もさることながらピッチャー交代のブーイングや味方チームの攻撃の時の応援歌、7回のジェット風船など、ルールがわからなくてもとにかくみんな楽しめたようでした。

試合は元広島カープのラロッカのホームランや、久しぶりにオリックスに復帰したローズのタイムリーなど打線の繋がったオリックスが5-2で勝利。試合終了の時はみんな「やったー」って感じでした。そもそもこの観戦ツアー?が実現したのは、実は近頃になかとお世話になっているナインモール商店街さんのおかげです。日本語教室からも比較的近い地下鉄九条駅前のナインモールは2001年の近鉄バファローズ優勝の時も、また近鉄とオリックスの合併騒動の際も商店街に選手を呼んで激励会を行うなど商店街をあげてオリックスバファローズを長年応援しています。ポランティアの中でもこの商店街周辺に住んでいる方も多いことから、今回はこの地域に住んでいる外国人と商店街の人々の交流ということで開幕戦に招待していただきました。商店街の皆さんありがとうございました。また商店街では夏には緑日などいろいろなイベントを企画されているようです。今後も日本語教室では積極的にナインモールのイベントに参加して行こうと思っているので、皆さん奮って参加してくださいね。

(丸山輝裕)



会計からの報告です。ワンワールドフェスティバルの2日間の売り上げ金¥22,488は、イベント担当のリーダー大城さんを通じ、協会に寄付して頂きました。ありがとうございます。日本語教室の活動資金として加算させて頂きましたので、ご報告します。会計担当窓口 水田薬子